

関西女子学生バスケットボール連盟
2021年度 第回 理事会 議事録(案)

日 時 : 2021年1月23(土) 14:00~15:00

場 所 : ホテルクライトン江坂

出席者

[副会長] 野老副会長、中大路副会長

[常任理事] 荒木初広、丸岡信吾、西川幸穂、畑岸邦枝、古本ルミ、石橋将広

[学生委員] 山下奈菜子、河村華奈、児島璃砂、松居里歩、浜守海、金崎睦、
前川由衣、山下果歩、永吉芽衣

書 記 : 山下果歩

西川総務部長から、出席状況の確認があり、連盟規約の要件を満たしており、本日の会議は成立することの報告があった。

慣例にしたがえば理事長を議長とするところ理事長が欠席のため、荒木副理事長を議長として議事進行することとした。

〈報告事項〉

1. 理事会体制の当面の措置について

2. 交流大会の反省事項について

(1) 各部からの報告

①総務部

山下学生委員より、資料に基づき説明があった。Webパンフレット販売について、無観客で大会を行うにあたり、Webパンフレット販売を行った。学連HPにパンフレット販売ページ(2枚目)を掲載した。遠方の方からの申し込みがあり、実際に足を運ぶことができない方のためにも続けることができるのであれば継続していきたいと報告があった。

②競技部

浜守学生委員より、資料に基づき説明があった。

第1試合の開始が遅れる場合があり、チームへセッティングの依頼を行う必要があった。1部運営の際にひまわりドーム会場にて、24秒計はあるものの、14秒にリセットできなかったため、大体大から借用して対応したが、事前確認が必要であった。1部最終日翌日に新型コロナウイルス感染の疑いがあり、結果的には濃厚接触者となる者は生じなかったものの、学生委員を含め、新型コロナウイルスに感染し、PCR検査の結果陽性反応となった者が生じた。影響は当該の武庫川女子大学にとどまらず、対戦した園田学園女子大学にも影響したことの報告があった。

③広報渉外部

金崎睦学生委員より、資料に基づき説明があった。反省点として、バスケットの iPad の調子が悪く、何度か試合後にスコアの調節を行って対応したが、チームに操作時の注意点を毎回呼びかけるなど徹底していく。YouTube 生配信用の WI-FI が低速になり、動画が何度も乱れたり止まったりした。ですが、理事や学生のポケット WI-FI、デザリング機能をお借りし乗り越えることが出来た。良かった点では、YouTube の視聴回数に、試合ごとの差はあるが 1 部決勝戦は約 400 回視聴されており需要があると感じた。だが今後継続するのであれば、生配信時にクォーターごとに点数を言うなどの工夫を入れるようにしていきたいと報告された。

④審判部

児島学生委員より、資料に基づき説明があった。返信確認の際に審判員からのキャンセルメールを見落としとしてしまっており、3 部以下の大会にて当日審判がない状況が発生してしまった。当日は学連委員に対応してもらったが、チームにも相手審判に対しても多大な迷惑をおかけしてしまった。競技部との連絡がうまく取れていなかったため、タイムスケジュールなどの変更を理事の方がホームページで確認して変更を知る事態が発生してしまった。台風等の臨時の状態の際に、男子学連との連携がうまく取れなかった。改善していく点として、メール見落としがあった際の返信確認を今回は一人が担当していたため、確認漏れがあったので同様に必ず 2 人以上でダブルチェックを行い、二度とこのような漏れがないように自覚をもって行っていく。競技部と細かく連絡・確認をすることで連携を深める。緊急の際は特に男子学連と協力を深め、情報を共有し合ってお互いに助け合っていく。今回の反省を生かして、細かく業務内容等をまとめたマニュアルを作成し、来年度はミスがないように徹底していくと報告された。

⑤財務部

尾崎学生委員長より、資料に基づき説明があった。新型コロナウイルスの影響もあり、当日の審判料の訂正が多く出金伝票のミスが多かった。審判部と出金伝票の正しい訂正法を共有しあったと報告された。

3. インカレ報告

荒木副理事長より資料 2 に基づき、説明があった。日学から大会結果の報告があり、関西代表 5 チームの内大阪体育が 5 位に入賞されたと報告された。

4. 財務状況について（2020 年度決算見込み）

荒木副理事長より資料に基づき、説明があった。2020 年度関西女子学生バスケットボール連盟の事業として、大会を開催することができず、リーグ戦代替試合の交流大会を開催。しかし、収入が大幅に減少となった。加えて、各大会の広告料収入も減少し、収支として大幅な赤字となる見込みと報告された。

5. 緊急事態宣言下の事務所利用および学連活動について

荒木副理事長より資料に基づき、説明があった。緊急事態宣言下においては、大学および高等学校・中学校等における部活動・サークル等の扱いについては、感染拡大防止の観点から慎重な取り扱いが求められる。例として、学生・生徒同士が組み合わせることが主体となる活動。身体接触を伴う活動。大きな発声や激しい呼気を伴う活動など。学連の学生の3密を最低限の活動していくこと。感染症への警戒を強化するべきであると報告された。

〈審議事項〉

1. 理事改選に向けての手続きの確認

西川副理事長より、資料に基づき、説明があった。次期役員任期は、2021年4月～2023年3月の（2年間）となる。また、理事選出について1号理事は本日の理事会にて、2月末に推薦を求め3月理事会に報告する。2号理事は、審判部より2名の理事について、推薦を求め理事会に報告する。3号理事について、理事長が学生委員長OGの中から、若干名を推薦し理事会に報告する。4号理事、理事長が若干名を推薦し、理事会に報告する。次期1号理事を要請する大学について、今期の理事会推薦要請を行った大学22校に、大阪国際大学および神戸医療福祉大学を加えると報告された。

〈協議事項〉

1. 2021年度の事業計画について

荒木副理事長より資料に基づき、説明があった。コロナ禍にあって、関西のチームが宿泊をともなう遠征が制限されている状況において、西日本学生選手権に出場する大学が何校になるか、今現在の状況では参加校が少ないと予想されています。2021年西日本大会の日程では、6月6日～6月13日とされていますが2月の10日に西日本学生選手権の準備委員会を開催すると報告された。

閉会にあたり荒木副理事長より挨拶があり、第回理事会を閉会した。

以上